

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 13)

団体名	(特非)みらプロ	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 為平 浩一
事業名	うずらの遺産を活用した周辺地域活性化事業			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月21日 10月23日 12月14日	soraかさい	一般：187名 (スタッフ：15名)	「soraかさいミュージアムガイド」(講師・為平)と共に北条高校生による「こども紙ひこうきワークショップ・読み聞かせ会」を実施
7月27日	soraかさい	一般：50名 (スタッフ：5名)	soraレクチャー「ロシア・ウクライナ戦争と日本・そして兵庫」講師・神戸学院大学岡部芳彦教授による講演会を実施
8月10日 (昼間)	soraかさい	一般：約100名 (スタッフ：40名)	戦跡普及啓発イベント「うずらのsoraフェスティバル」として、北条高校生による探究活動成果の展示、ならびに発表会をミュージアムエリアで実施
8月10日 (夜)	soraかさい	一般：約120名 (スタッフ：32名)	戦跡普及啓発イベント「ナイトミュージアム&謎解きナイト」として加西市青年連絡会えんどれす協力による謎解きとお化け屋敷的イベントを実施
11月23日	soraかさい	一般：約100名 (スタッフ：3名)	soraレクチャー「ゴジラ-1.0における第二次大戦中の幻の戦闘機」講師・中村泰三氏(大戦機体保存研究)による映画と航空機技術の講演会と展示を実施
10月6日 10月14日 11月23日 12月15日	soraかさい 鶉野飛行場跡	一般：47人 (スタッフ：12名)	「うずらの戦跡ガイド」として、北条高校生ガイドによる鶉野飛行場跡戦跡ガイドを実施、その中で当時をイメージした演劇を交えた取り組みも実施
12月22日	soraかさい	一般：約180名 (スタッフ：8名)	soraかさい特別展示「特選空母・展覧会」を模型の絆の協力で多目的室にて実施

< 効果と成果 >

- ・本事業では、うずらの遺産を活用した地域活性化への寄与として、戦跡及びsoraかさいへの来客確保を目指した新しい団体や学校などとの協力による様々な取り組みを試験的に実施することができた。
- ・soraかさいでのナイトミュージアムなどの新たな取り組みでは、新しい層の来客確保に繋げることができた。
- ・soraかさいミュージアムガイドや戦跡ガイド、講演会の実施は、従来からの客層の再訪確保に有効であった。
- ・本事業を通じて、来場者にシャトルバス利用や戦跡エリア私有地立入抑制の周知や啓発を促進できた。
- ・新たな取り組みでは、北条高校読み聞かせ班など新しい探究班との協力拡大に繋げることができた。
- ・加西市青年連絡会えんどれすの協力でエンタメ性を付加した新たな取組の実施体制を構築することができた。
- ・今回実施した様々な取り組みを通して学校や市民団体、企業、行政等との協業による持続可能な体制の基礎作りとすることができた。

<今後の展望>

本事業の今年度の実施では新たな団体との協力関係による新たな取組みの試験的な実施と共に、従来からの取組みなども合わせて実施した。これより専門的な講演会や展示がリピーター確保に有効であることやナイトミュージアムなど新たな取組みは、広く一般からの新しい集客に有効であることが分かった。

以上を踏まえ、今後は新たな層への訴求を目指して、子供や家族連れをターゲットとしたエンターテインメント性を取入れたイベントに軸足を置いた取組を関係団体と協力し、推進していきたい。その上でうずらの飛行場跡やsoraかさいの普及啓発による来場者を増やすことで、地域の振興に寄与していきたい。

また、広報に関して、現状SNSやチラシ配布程度しかできていないことから、集客への効果が低かった。今後は、周知についての新聞広告などメディア活用について考える必要がある。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	350,000
事業収入等	134,968
合 計	484,968

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	85,500	80,000
	備品	0	0
	講師謝礼・旅費	147,400	90,000
	その他(委託費等)	91,380	75,000
	小 計	324,280	245,000
	間接経費(一般管理費)	160,688	105,000
	合 計	484,968	350,000